

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

気管支喘息における 3D-CT 解析を用いた実臨床応用

＜研究機関・研究責任者名＞

権 寧博

＜研究期間＞

機関の長の初回許可日 ～ 令和 8（西暦 2026）年 10 月 30 日

＜対象となる方＞

2010 年 01 月 01 日～2026 年 04 月 30 日の期間に、日本大学医学部附属板橋病院に通院する 18 歳以上の患者様のうち、気管支喘息と診断され、喘息安定期および増悪時の胸部 CT を SYNASE-VINCENT で 3D-CT 解析されており、オプトアウト公表後に、十分な理解の上、患者様ご自身の自由意思による同意撤回が無い患者様が対象となります。

＜研究の目的＞

現在、様々な疾患において、2 次元の CT 画像を 3 次元の画像に変換する 3D-CT を解析することで、病気の状態をより詳細に把握することが可能となってきました。喘息では”粘液栓”と呼ばれる気管支の中にある粘液の塊が喘息の悪化に関係していることが近年報告されています。粘液栓を評価するためには、2 次元の CT 画像より 3 次元画像が優れていると考えられますが、3D-CT による喘息の粘液栓の評価については不明な点が多く残されており、3D-CT を用いて粘液栓および気管支の状態を詳細に把握し、喘息のコントロール状態と比較することで、治療選択の有用なツールとして臨床に応用できるかを、この研究では検討していきます。

＜研究の方法＞

2010 年 01 月 01 日～2026 年 04 月 30 日に日本大学医学部附属板橋病院に気管支喘息で受診していた患者様のカルテより、胸部 CT 画像と身長や体重などの基本情報、血液検査や呼吸機能検査の結果を匿名化して情報収集し解析を行います。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

呼吸機能検査や胸部画像検査、血液検査、基本情報を使用します。

＊個人情報とは関係ない研究対象者コードを付して対応表を作成し、研究参加者のプライバシー保護に十分配慮します。対応表は適切に管理し、他の研究機関へ提供しません。また、研究の結果を公表する際は、研究参加者を特定できる情報を含めないようにします。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部内科学系呼吸器内科 権 寧博

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

電話番号 03-3972-8111（内線 2401）

※研究対象者とは，以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方